

# 全国一般全国協

全国一般労働組合全国協議会

編集発行人 遠藤 一郎

東京都港区新橋3-21-7 松本ビル

TEL 03-3434-1236

FAX 03-3433-0334

## 雇用破壊NO! 全国連鎖運動、東海道リレー行動を成功させ、4・21中央集会に結集しよう

全国一般全国協議会中央執行委員会

生活防衛の賃上げを、  
ストライキで闘い  
取るう!

九九春闘は日産のベアゼロ、電機連合の五百円ベアを始めとするJC、連合大手の超低額回答、一発妥結で今年も敗北したと宣伝されている。しかし中小労働組合の春闘はこれからだ。

大手の多くには定期昇給制度が存在し、二%~五千円~七千円の賃上げが確保されている。それもない中小企業では、大手のベアだけ

をとらえて賃金抑制攻撃が吹き荒れている。全国協の三月中の回答がほとんどゼロ、ないし延期されている。この困難を跳ね返し、ストライキを配置し、地域共闘で支え合い、ねばり強く生活防衛の賃上げを闘い取るう。

雇用破壊NO!  
全国連鎖運動、  
東海道リレー行動を!

労働力の流動化、雇用のジャストインタイム化、労



3.25 全国協統一行動 (東京)

働者の使い捨てを狙った労働法改悪と大量失業攻撃がかけられている。私たちは労働者の権利と倒産問題研究会を昨年から出発させ、十二月と三月の二度にわたる研究合宿、二月二十日のシンポジウムを成功させ、実践マニュアルの発行、「倒産なんかには負けないぞ! ホットライン」の開催、倒産法制見直しへの政策検討等に取り組んできた。この成果を踏まえながら、

さらに、派遣法改悪・職安法改悪反対の闘い、失業者の生活保障と雇用確保を求める対政府・自治体闘争、大量失業攻撃の元凶への責任追及の闘いを結合させ、雇用破壊攻撃総体への反撃を開始しなければならない。

昨年の労働基準法改悪反対の戦線を再現し、多くの労働組合と共同するために結成された雇用破壊NO! 全国調整会議は、四月十二日~十六日に集中した全国連鎖行動、十二日大阪を出発し、京都、名古屋、静岡、

神奈川、埼玉を結び、東京に攻めのぼる東海道リレー行動を呼びかけている。

各地の解雇、倒産争議支

援、全国的大量失業攻撃の元凶として住友銀行(全日建連帯東亜分会争議)・日商岩井(全統一シャルマン分会争議)・パソナ(派遣労働者争議)の全国抗議申し入れ、職安・自治体への派遣法、職安法改悪反対、雇用確保要求申し入れ、交渉、街頭宣伝、集会、デモ等多様な取り組みを、全国一般全国協はその先頭に立ち、各地で企画し成功させよう。

全国行動を集約し、  
4・21中央集会を  
成功させよう!

各地区の闘いを集約し、労働省、政府申し入れや住友銀行、パソナ本社への抗議申し入れ行動を日中展開し、夜は日比谷野首で中央集会を開催、国会へデモを行なう。

「雇用破壊NO!」「倒産・失業NO!」「派遣法・職安法改悪反対」を合い言葉に全国から総結集しよう。雇用破壊を許さない労働者の反失業闘争の出発点として4・21集会の成功を勝ち取るう。

# 九九連帯春闘・反失業全国 キャンペーンの成功に向けて

## ●九九春闘各ブロック報告●

### 2・7 東北地区民間中小討論集会

二月七日、郡山市において「九九春闘勝利！東北地区民間中小討論集会」が約五十名の仲間の参加で開催された。はじめに主催の全国一般全国協遠藤書記長より、「大失業、倒産に立ち向かう労働運動」をテーマとした基調提案がなされ、引き続き参加組合から現場報告が行なわれた。国労郡山工場支部の仲間からの配転攻撃との闘い、秋田竹村製作所労組の仲間からの倒産を阻止し、労働者の生活を守るための闘い、宮城合同労組の地域春闘の取り組み、福島県教組の学校給食委託化反対行動、そして栃木不二機労組、郡山のタカラブネの仲間、郡山連帯労組の闘いなど、リストラ

に抗する各組合の困難ではあるが意義のある活動が紹介された。  
資本の側の春闘は「雇用か賃上げか」から「人員整理と賃下げ」に転換しており、我々の春闘は生活破壊に抗して地域ぐるみで反撃に出ること、行政闘争を強化して生活を守ることがこれまで以上に必要になっている。集会に参加した仲間が知恵を出し合い、相互支援を強化して、九九春闘に向かいたい。

最後に、「首切り・倒産NO！反失業闘争に取り組みよう」を全体の合い言葉にして全国行動に積極的に参加することを確認して集会を終えた。

### 2・6 関西民間春闘交流会

関西民間春闘交流会が、二月六日、大阪で二十四労

組、七十四名が結集して開催された。

全国一般全国協が呼びかけ開催されるこの関西民間春闘交流会は、今年で四年目となり、関西での民間中小労組の闘いの結集軸として定着、拡大してきた。  
全日建運連帯労組関西生コン支部の厚意で新装のユニオン会館のこけら落としにこの交流会を開かせていただいた。

集会は、中岡委員長から、「例年とは様変わりした雇用・政治・経済情勢の下で、①首切り、倒産・失業を阻止する、②生活権利破壊を許さない、③労働法制の改善を許さない、④平和そのものを脅かすものへの闘い」を強調した提起がされた。さらに、山原副委員長から「倒産・解雇とどう闘うか・・・現に倒産争議を闘っ

### 2・14 九州・山口ブロック春闘討論会

二月十四日、福岡市で九州・山口ブロックの春闘討論会が開催された。長崎、熊本、福岡、北九州、山口から普段は地元で奮闘している仲間たちが集まった。久方ぶりの再開に笑顔の花が咲く。十時開会。六時開

ているところを支援するのがノウハウを身につける最大の近道」というタイムリーな提起を受けた後、十組合から闘いの報告が行なわれた。昭和起重機労組、ゼネラルユニオン、金属機械ジーエス製作所支部の三労組より倒産闘争、解雇撤回闘争の報告、京阪タクシー新労組よりハイタク労働者の全国結集が、また、護法労組、関西生コン支部、きょうとユニオン、ユニオン全労協、自立労連、徳島の各労組・地域からの報告が行なわれた。  
交流会第二部では西成合同労組の福田さんの司会、金属一般の小城さんの乾杯で、九九連帯春闘・反失業全国キャンペーンの成功を参加者全員で確認した。

に残った。博多闘争団からもメッセージをいただいた。続いて失業倒産情勢について熊本学園大学の花田昌宣さんから「失業情勢下の日本経済と反失業闘争の課題」と題して講演をうけた。わかりやすくおもしろかったと組合員には好評だった。  
午後からは全国協から遠藤書記長が春闘基調を提案。大不況下の今こそ、中小労働者は大幅賃上げ要求を柱にたたかうこと。改悪労基法を職場における協約締結闘争としてたたかうこと。さらに失業・倒産NO！全国運動を巻き起こすこと。わかりやすく明快な提起に一同納得。続いて各労組の報告だ。参加者のなかでもっとも若い（はず）書記長が発言にたった連帯山口、解雇や労災の労働相談で忙しいユニオン北九州、相変わらずの中尾節で一同を沸かせたラジオメーター労組、正規職員の脱退とパート労働者の加入と組合組織化のあらたな局面が報告された。ふくおか生協労組、菱光のすさまじい組合つぶしのたかいたの総括的報告が詳細になされた長崎連帯支部、

三月三十一日の雇い止めを間近にひかえ支援を呼びかけるくまもとゼネラルユニオン（花田先生がこんどは守る会代表として飛び入り報告）、嘉飯山合同の江藤組合長からは蓮筆のメッセージもいただいた。

どの報告ものびやかでたかいたのなかに笑いがある、小といえども九州・山口の地で全国一般全国協の旗を振りつづけている、その自信と誇りに満ちた集会であった。  
春闘にむけて気合の入るよい集会でもあった。

### 東海道リレー行動

- 4・12 大阪
- 4・13 京都
- 4・14 名古屋
- 4・15 静岡
- 4・16 埼玉
- 神奈川
- 4・21 東京

銀行・商社・経団連・労働省抗議！

▼夜 日比谷集会  
国会請願デモ

# 倒産失業NOキャンペーン

## 九九権利春闘ネット愛知

九九権利春闘ネット愛知は十二月五日(土)に東京南部の平賀さんを講師として、九九春闘に向けての闘いを勉強し、その後正式に発足しました。今年の取り組みに関しては、一月度争議団争議組合交流集会、二月度春闘一日行動、三月度労働相談、四月度春闘総決起集会、というように月ごとにテーマを決め、愛知の地において闘いを進めていきます。

一月度の争議団争議組合交流会には昨年十二月結成した全統一労働組合シャルマン分会の闘いの報告がなされ、支援していくことを確認しました。シャルマン分会の本社は名古屋にあり、倒産失業に泣き寝入りはしないぞ!という固い決意で闘いを進めており、二年度の春闘一日行動は一渡に渡って闘い、二月十二日においては城下エンジニアリング、日本メデイコ、木曾路での団交申し入れを行ないましたが、いずれも拒否された

ため即座に抗議行動に切り替えて闘って来ました。二月二十二日には名古屋港水族館の職場の配置転換によるいじめ問題に関しての裁判傍聴、そして昼からは東海インターナショナルユニオンに労働相談があった英会話の学校との交渉、その後名古屋駅前にてシャルマン分会の情宣活動に取り組みました。

三年度の労働相談に向けての勉強会を三月五日、全統一労組の鳥井さんを講師として倒産失業について学び、今まで倒産失業の相談はなかったものの今後増えるという状況の下で倒産失業に関する対応を学んでいきました。そして三月二十三日～二十六日の四日間に渡って名古屋管理職ユニオン、ユニオンなごや、東海インターナショナルユニオンの三ヶ所にて労働相談を行ないました。四年度においては、倒産失業NOキャンペーンを四月十四日に取り組みます。

### 寄稿 倒産なんかには負けないぞ!

#### 全統一労働組合シャルマン(武井商事) 分会

十二月十八日の突然の解雇通告、これが倒産争議の始まりでした。

十二月分の賃金、退職金は支給されず解雇予告手当もわずかで、「全ては破産管財人に任せてある」という社長の通知書だけが渡されただけでした。これでは許せない。東京支店と札幌営業所の全員が労働組合員となり、事業継続、不当解雇撤回、労働債権確保という目標を持って旗揚げをしました。まず地位保全の仮処分を申請し、それと同時に破産申請に対する意見書を提出しました。また、社会保険の問題では健康保険の継続、年金の手続き、雇用の保険の仮払い給付の申請を行ない、とりあえずの保証を確保しました。ただ、この倒産争議を闘う中で、こ

の倒産が計画的であり、商品の供給元である日商岩井が武井商事に九八年十月に行なった売掛金債権譲渡登記設定が明るくなって以降、銀行や仕入先に信用不安をおこし十二月の破産申請に至りました。そもそもこの債権譲渡登記とは、九八年十月に施行された「債権譲渡の対抗要件に関する民法特例法」という取引先の持つ債権を譲り受けて登記して債権を保全するという新しい法律であり、将来発生する売掛金債権まで担保として登記できることが問題であり、実際には日商岩井に対する債務は六億円なのに四十九億三千万円もの債権が登記されていたのです。今後、倒産の計画を進めていた社長、倒産に追いやって、焦げ付き債権を回収する日商岩井へ、「給料を返せ!職場を返せ!」というスローガンのもとに「シャルマン再建委員会」という自主再建プロジェクトを組みながら闘争を展開していきます。



全統一労組シャルマン分会

## 四月地方選挙で

### 護憲派を支援しよう!

四月は知事選、市町村議会の統一地方選挙が行われる。今回の地方選挙はいつも増して重要である。何故なら、地元の利益だけでなく、国政と直結しているからである。

周辺事態法では自治体の施設や職員が戦争に動員される。それに反対する事。また、市町村が主体となる介護保険制度で、福祉施設を充実させる事、倒産失業

問題でも自治体・職安行政で労働者の利益に立つ事なども大きな問題である。既に、自自連立政権の周辺事態法案・憲法調査会設置など戦争一改憲政策に公明党・民主党も賛成している。

私達は、議会の反動化に對して、護憲派を支援していこう。公約でも、現実的にも労働者の利益に立つ議員を支援していこう。

# 雇用破壊NO! 倒産失業NO! 自治体・職安交渉で要求を 闘い取ろう!

極めて厳しい春闘情勢の中ではあるが、私たちは「倒産失業NO!」「雇用破壊NO!」「派遣法・職安法改悪反対!」の闘いを押し進めることを決定している。四月中盤にわたって、全国で雇用確保と、失業者の保護を求めて各地で自治体交渉、職安交渉を積み重ねる。四月十二日から大阪を出発して東海道をリレーでつなぎ、二十一日には中央総決起の闘いを準備している。

以下は自治体交渉、職安交渉に於いて要求する主な項目を列記する。各地方、地域によって状況は異なっている。私たち全国協傘下には地域で特定不況地域に指定されていたり、指定不況業種の職場が多くある。各地で仲間の労働組合と連携を取りながら、地域の現状にあった要求をも付け加えて闘いを進めていこう。

全国調整会議から自治体、職安、銀行商社、派遣業者などに対する申し入れの素案も提示される。それらも

参考にしながら闘いを進めよう。

## 雇用保険の失業 手当について

第一は雇用保険の失業手当に関するものである。

- ① 解雇を係争中の申請者に対して速やかに仮給付手続をとること。
- ② 「自己都合」離職者であっても給付制限期間をもうけず、ただちに失業手当を支給すること。
- ③ 就職が困難なものに対しては、延長給付を行うこと。
- ④ 日々雇いの労働者の就業日数要件を緩和し、失業手当の給付を行うこと。
- ⑤ 事業主が雇用保険に加入していない時、失業手当受給資格の認定を速やかに行うこと。
- ⑥ 自治体、第三セクターが雇用する非常勤労働者の雇用保険加入を行うこと。

## 雇用対策に ついて

第二は雇用対策についてである。

- ① 職業訓練施設・定員を拡充し、入所希望者を全員受け入れること。
- ② 中小企業への助成を強め、積極的に求人掘り起こすこと。
- ③ 自治体として失業者の雇用を確保するため失業対策事業を興すこと。
- ④ 事業主に解雇権乱用無効の法理、整理解雇四要件を周知徹底させ、安易なリストラ解雇を行わないよう強く指導すること。

第三に労働者派遣法改悪に反対する立場からの申し入れと、違法派遣の取り締まりについてである。労働者派遣業者の監督は各地職安業務と一体となっているが実質何も行われていないのが現状である。

① 派遣労働者の労働条件並びに違法派遣の実態調査を行い、その是正と指導を強めること。

② 派遣職種の原則自由化を行わないこと。

③ 派遣業者に対し、労働者をもれなく社会保険に加入させること。

④ 派遣労働者の労働条件、権利確保のために派遣業者に対する指導を強めて違法派遣を根絶すること。またそのための担当職員を増員すること。

## 新ガイドライン 関連法反対で 銀座デモ

二月十四日、東京・日比谷で「新ガイドライン関連法案を吹き飛ばせ! 戦争協力を許さないつどい」が開催された。参加者は千八百名。全国一般全国協は、東水労や清掃・都職等の仲間と共に、旗を掲げて参加した。集会では、沖繩社大・社民・共産・新社会党の護憲派議員による国会攻防の報告、沖繩からは那覇軍港・普天間基地の県内移設に反対し、アジアの人々を殺戮する加害者になる事を拒否する決意が表明された。他方、海外ゲストのフィリピン・バン代表、韓国の僧侶からは、米軍基地と日本の再侵略を許さない発言が行われた。浜松・岩国・横須賀・厚木・横田・小樽・関西の住民団体からは、反基地闘争と自治体への申し入れ行動が報告され、全労協と全労連からは、九九春闘



2・14 日比谷公会堂集会 1800名参加

と戦争への道を許さない決意が表明されたのである。集会後、デモ隊は銀座を練り歩いた。一月三十日関西集会も二千五百名が参加した。四月が周辺事態法案の山場となる。自治体への申し入れや、三月京都、四月大阪、十五日東京日比谷集会など全国闘争に立ち上がり、新ガイドライン関連法に反対しよう。

- 一、通ずな、つぐせ!
- 新ガイドライン
- 4・15 集会
- 夜・日比谷野音
- 一、5・14 周辺事態法を廃案へ
- 関西集会(夜)
- 大阪(場所未定)